

心臓外科術後の高流量酸素療法の 適応基準に関する検討

心臓血管外科の手術は、体にとって負担を伴う大きな手術です。私たち看護師は、心臓血管外科の医師を中心に、麻酔科医師や薬剤師などと協働しながら、患者様の1日も早い回復を支援できるように取り組んでいます。

この度、心臓血管外科に携わる胃腸チームでは、手術が終わった後の体の中の酸素量を維持するための方法を検討するために、過去の診療録を振り返り調べることにしました。

この調査結果は、心臓血管外科の手術の後に、より安全で効果的な呼吸管理が進められるような基準を検討するために役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2018年5月から2019年2月の間に心臓血管外科で手術を受けた患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、手術の後の酸素投与の状況や呼吸状態に関連する情報を得て、高流量酸素療法の適応基準を統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

看護師 立野淳子

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)

